

平成28年度第6回スポーツ推進計画策定委員の会議

平成29年3月16日(木)

午後6時30分開会

開催日時	平成29年3月16日	開会 6時30分	閉会 7時20分
場 所	第二庁舎501会議室		
出席委員	委員 長 植田 征司 副委員 長 田中 幸夫 委 員 安東 和義 委 員 秋澤 恵子 委 員 田澤 英徳	委 員 石井 晴美 委 員 雨宮 安雄 委 員 千本木勘博 委 員 宮崎 英子 委 員 早瀬 圭代	
事務局	生涯学習課長 石原 弘一 スポーツ振興係長 松本 浩明 スポーツ振興係主任 宮 航太 スポーツ振興係主事 三枝まなみ		
傍聴者 人 数	<u>0</u> 名		

日程	次 第
	<ol style="list-style-type: none">1 資料・スケジュール説明（事務局）2 訂正箇所確認及び審議3 その他

松本スポーツ推進係長 それでは、始めたいと思います。

石原生涯学習課長 すみません、教育長と部長のほうから、今日、最終回ということで、くれぐれも皆様方のご協力にお礼を申し上げますというふうに挨拶預かってまいりましたので、ほんとうに皆様、精力的にいろいろな部分を見ていただいて、いろいろな有意義なご発言をいただきまして、大変ありがとうございました。

今日が最後になりますけれど、よろしく願いいたします。

松本スポーツ推進係長 第6回ということで、昨年の10月から始めて、今日6回目ということで、最終回。ほんとうにいろいろありましたけれども、ご協力ありがとうございます。

それでは、皆様おそろいですので、早速始めたいと思います。

お手元に次第があるかと思えます。そのほかに資料が2点です。

この計画（案）は皆様お持ちでいらっしゃるでしょうか。第5回会議後という。お持ちであれば。

それでは、委員長、お願いします。

植田委員長 では、よろしくお願いします。

次第1、資料・スケジュール説明は、今あったとおりですね。

じゃあ、済みません、事務局、今日の流れをお願いいたします。

松本スポーツ推進係長 今日はおおむね1時間程度として、その後、予定が入っておりますので、早速私のほうから、前回の訂正箇所の確認について、若干ご審議いただく場合があったら、ご審議いただきたいと思っております。

それから、お手元の資料の小金井市スポーツ推進計画（案）のパブリックコメント結果なんですけれども、前回お渡ししたものと表現方法だけちょっと変えてございます。表現方法につきましては、他課もしくはうちの生涯学習課のものと表現、言い方を合わせまして、書き直しております。なので、さほど変わっているところはないと思われま。

それからもう1つ、第5回、前回の2月に行った会議の会議録に

については、既にご意見のあった方からの分については修正をかけております。お手元にそれがお配りしたものでございますが、よろしいでしょうか。ご承認いただくということで。

(「はい」の声あり)

松本スポーツ推進係長 ありがとうございます。

それでは、早速2番に。

植田委員長 じゃあ、2番の訂正箇所確認及び審議をお願いいたします。

松本スポーツ推進係長 まず第1に、先ほど申し上げましたパブリックコメントの結果については、ほかのパブリックコメントを参考に表現を統一させていただきました。

それから、既に目次と本文との整合性をとらせていただいております。

それから、てにをはや若干の表現、趣旨を曲げずに文言の表現を訂正させていただいております。

それから、お手元にあると思いますが、計画(案)の10ページなんですけど、網かけと下線を引いてあるところがあると思います。これは前回審議していただいた中で、事務局のほうで今回訂正をさせていただいております。

まず、10ページの「3 スポーツ環境の充実」の「(2) スポーツ施設の整備」でございます。下から2行目のところに「運動施設利用について、市内の学校や近隣市との協力体制づくりを推進します」といったところがございますが、これはこの前のものでは「市内の学校をはじめとする運動施設を利用できるよう、学校と連携を図りながら協力体制づくりを推進します」というのを今回こういう表現に直させていただいたのは、前回ご審議いただいた、学校に特化し過ぎているといったところから、もうちょっとやわらげた表現方法で、このようにお示ししてあります。「市内の学校や近隣市との協力体制づくりを推進します」ということにしてあります。

これについてはいかがでしょうか。何かご意見があれば、いただきたいと思っております。

植田委員長 皆さん、どうでしょうか。10ページ、3、「(2) スポーツ施設の整備」の下から2行目のところですね。

宮崎委員 いいと思います。

植田委員長 私もいいと思います。
では、皆さん、いいということで。

(「はい」の声あり)

松本スポーツ推進係長 ありがとうございます。

続きまして、同じページの「4 競技力向上に向けた選手育成、指導者の資質向上」の1、2行目でございます。これにつきましては、前の表現方法では、「スポーツ関係団体や関係部署と連携をとり、小学校のクラブ活動への指導者派遣、中学校部活動への外部指導者派遣を推進していきます」という表現方法をしていたんですが、前回のご審議の中で報酬等、予算の裏づけなど、システムの構築、組織づくりの観点から、もう少し表現を変えたほうがいいんじゃないかということで私ども生涯学習課長からもお話があったんですが、「小金井市に縁のあるスポーツプロフェッショナルチーム、企業チーム、大学運動部などと連携をしながら、市内小中学生の技術力向上を図ります」という表現に変えてございます。

これについてはいかがでございますでしょうか。

宮崎委員 いいと思います。

植田委員長 ここは「など」とついているから、いろいろな解釈の仕方もあるのかなど。ゆかりのあるプロフェッショナルチーム、企業チーム、大学運動部などなので、ここの4つにかかわらず、「など」というところが網羅されているという認識でいいかなと思いますが、いかがでしょうか。

宮崎委員 いいと思います。

植田委員長 では、皆さん、これで。

(「はい」の声あり)

松本スポーツ推進係長 ありがとうございます。

それから、大きなところの訂正という意味では、12ページをお開きください。「(6) スポーツ推進の連携図」の最後の4行目、5行目についてでございます。ここは前回お示しした文章が中途半端で終わっておりました。これを考えまして、「また、市民ボランティアの仕組みや創設のための環境づくりを推進します」ということで、訂正をしてあります。

環境づくりというところがどうなのかなというところもあるかもしれないんですが、ここはちょっとご審議いただければと思います。

植田委員長

ありがとうございます。今お話のありました市民ボランティアの仕組みや創設のための環境づくりの、この環境はもう少し具体的な文言にしてもいいのではないかといいところではあるんですが、これに関しまして、皆さん、どうお考えでしょうか。

そうですね、確かに環境だと、ボランティアの創設にはつながってこないという捉え方もできるということだとは思いますが。実際、もう少し市民ボランティアの仕組みや創設のために、せめて尽力を尽くしますぐらいが。ちょっと携わっているような、そういう文言。

これ、そもそも、でも、どうなんですかね。我々がボランティアをつくることに関して。ボランティアはそもそも、環境だけつくってあげて、勝手に立ち上がってくるのを待つということもまた1つだと思っております。

千本木委員

私はこれでいいと思いますよ。だって、ボランティア、仕組みでしょう。仕組みや創設のための環境づくりだったわけですから。大きくな。ということで、これでいいんじゃないかなと私は思いますけどね。

植田委員長

あくまでもボランティアはボランティアという組織で形成されて、我々がそこで何か協力できることがあれば協力する。その前段階で、環境を整備して、つくりやすいような状況にするという認識

で。

千本木委員　　我々は基礎づくりに、仕組みとか創設のための準備というか、基礎づくり、そういう環境を整えるということであるんだから、これでいいのかなと私は思います。

植田委員長　　そうですね、あくまでも我々がボランティアをつくるという、立ち上げるわけではない。

田澤委員　　田澤です。東京マラソンなんかでも多分そうだと思うんですけども、今年で12回とかそのぐらいまでやってきて、市民ボランティアとか企業だとか、いろいろなボランティアが立ち上がってきて、スポーツ推進委員なんかも今までお手伝いに行っていたんですが、各市町村から四、五名とか。そういうのも今、人数が少なくなってきた、ボランティアで出てきてくれている方を積極的に、来ようというか、そういうふうに行っているところも見えるので、ボランティアというのが立ち上がってくる段階、いろいろあると思うんですけども、立ち上がってくるのを待つのも、先ほど委員長が言ったように、1つでしようし、いろいろな形で出てくるのを私たちが制御できるわけではないので、立ち上がってきたときに、行政とか、今いる5者と連携しながらというのが上に条文にあるので、私も千本木さんが言ったように、仕組みや創設のための環境づくりをここでということを考えれば、トータルでいいんじゃないのかなと思います。

植田委員長　　皆さん、いかがでしょうか。

安東委員　　安東ですけど、仕組みや創設のためのというふうになると、なかなかちょっと厄介だなと思うので、ボランティアの創設のための環境づくりで、仕組みとなると何かまた別のことを考えなきゃいけないような気もするので、それを取っちゃったらいんじゃないかと思ひ、そうすると、この絵との整合性もあって、市民ボランティアが創設されて、5者と連携をしながらやると。簡単な系図になるので、それでいいんじゃないかと思うんですけど。

それともう1点、本文と絵で、黄金井倶楽部さんの呼称が違うの

で、どっちかに合わせたほうが良いと思うんですね。絵は総合型地域スポーツクラブになっているし。

秋澤委員 文章はね。

安東委員 文章は非常に長い感じのものになっていますので、どっちかに統合したほうが良いのではないかと思います。黄金井倶楽部のご希望を伺ったほうが良いんじゃないかと思います。
以上です。

植田委員長 ここは……。

秋澤委員 総合型地域スポーツクラブ、この絵のほうに合わせていただいたほうが良いかなと思います。

松本スポーツ推進係長 松本です。そうしますと、1ページ前の11ページの(4)特定非営利活動法人、こども。

安東委員 そこもあるか。

松本スポーツ推進係長 全て、だから、どうしましょう。

秋澤委員 (4)ですね。

田澤委員 でも、13ページもそうになっていますよ。

松本スポーツ推進係長 正式名称は特定非営利活動法人黄金井倶楽部なんですね。
11ページの(4)では、1行目から総合型地域スポーツクラブと書いておりますから、11ページの(4)特定非営利活動法人…
…。

秋澤委員 ここはこれで。

松本スポーツ推進係長 これは残しておいて、12ページの(6)、この中では総合型地域スポーツクラブという表現で。

安東委員 さかのぼって探す人はいないと思います。
ここだけです、整合性をとるところは。

松本スポーツ推進係長 そうですね、わかりました。

秋澤委員 このページでお願いしたらいいかと思います。

植田委員長 あと、今、安東委員からありました市民ボランティアの仕組みと
いうところに関して、仕組みを取ると、市民ボランティア創設のた
めの環境づくりを推進しますという形になりますが、これについて
は、皆さん、いかがでしょう。

仕組みという文言があったほうがいいのか、外したほうがいいの
か。

宮崎委員 やはり安東さんがおっしゃるように、この下の図に合わせて、市
民ボランティアの創設となっていますので、仕組みをあえてつける
ことはないかなと思います。

植田委員長 ほかには何かご意見ありますか。

安東委員 安東です。取ってしまえば、何で仕組みというのが入っていない
んだという人はいないと思います。

田中副委員長 田中ですが、取るのはいいと思います。仕組みというの
はちょっとあれなんで、市民ボランティアの創設という、最初につくり出す
というのと、育成というか、育てるというその文言を入れたほうが
いいような気がしますね。創設、育成のための環境づくりとかとい
う感じにしたらいいと思います。

植田委員長 市民ボランティアの育成や創設のための環境づくりを推進しま
す。

田中副委員長 はい、そんな。

植田委員長 創設という、必ずつくらなくてはいけないという、ちょっと特化し過ぎている気も。今あるところはどうなんだというね。

田中副委員長 田中ですけれども、あまり深く考えなくてもいいんじゃないですか。

植田委員長 そうですね、今、田中先生がおっしゃったように、じゃあ、今あるボランティアさんはどうなるんだという突っ込みを受けても。

今あるボランティアさんも、何らかしら協力してもらいたい、協力してあげたいというのはあるのかもしれないですね。

宮崎委員 それはそれで、この創設のための環境づくりを推進しますという中に入って、育成需要とか、そういうものが出てくるとは思いますけれども、そういう中にボランティアの育成をやりますからどうですかという感じで誘ってもいいわけですから、特に今あるボランティアさんの団体さんをあまり詳しく考えることはないと思います。それぞれの分野でやっているわけですから。

植田委員長 わかりました。では、市民ボランティアの創設でいくのか、市民ボランティアの育成や創設のため、今この2つになっておりますので、これでどちらか選ぶということによろしいですか。

では、まず……。

石井委員 石井です。私は知らなかったんですけれども、今も市民ボランティアさんたちが結構いらっしゃることなので、そうしたらやっぱり、また市民ボランティアのさらなる育成や創設のための環境づくりというふうにすれば、今の方たちも入るんじゃないですかね。

宮崎委員 そうですね。

植田委員長 いい感じだと思います。

いかがでしょうか。市民ボランティアのさらなる育成や創設のための環境づくりを推進しますということによろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

植田委員長 では、そういう形で。

松本スポーツ推進係長 ありがとうございます。

三枝スポーツ振興係主事 そうしたら、この連携図は、市民ボランティアだけでどうでしょうか。

石井委員 そうですね。

宮崎委員 そうですね。

石井委員 石井です。周りも組織が書いてあるわけだから、そうですね。市民ボランティアでいいんですよね。

宮崎委員 創設は要らないですね。

植田委員長 では、変更に合わせて、こちらの図のほうも。

安東委員 創設は要らない。市民ボランティアに。

植田委員長 変更ということ。

植田委員長 よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

植田委員長 では、ここに関してはそういう形で、いいかと思います。

松本スポーツ推進係長 ありがとうございます。大きなところでは、今ご審議いただきましたその3つが、今日ご審議いただくところです。

それから、前回秋澤委員からご指摘いただきました4ページの「〇ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」のところで、「幼児期から高齢者」を「幼児期から高齢期」に直してございます。

それから、7ページの一番上なんですけれども、前回、今書かれ

ている文章の前は、「有料化に対して、「今のままでよい」が33.3%であったことから」という、少ない数字を持ってくるよりは、大きい数字、「低い水準で利用料を設定すべき」が61.9%」のほうがよろしいんじゃないですかということで、そちらに変更してございます。

前回の会議の中で、今回変更もしくは審議をいただかなければいけない箇所については以上になりますので、ほぼこれで固まったかなというところではございますが、まだもうちょっと読み込んで、趣旨を曲げない程度に表現を変えたりということもさせていただければと思っております。

本文については以上なんですが、あと、表紙でございますけれども、写真を変えてございます。前は総合体育館の正面入り口の写真だったんですが、今回、4枚、バランスからいって4枚かなと思ったんですが、左上から野川駅伝、右側が市民体育祭の開会式、左下はスポーツ推進委員でやっている市民体力測定、それから、右に行きますと、スポーツレクリエーションの集いです。

これを載せているんですが、いや、もう1枚足してくれというのが委員長からあるかなと思ったんですが、

植田委員長 そうですね、立場的には何か。

松本スポーツ推進係長 そうなんです。

植田委員長 私も難しい立場なので、まさか私たちの指定管理者名を出すわけにいかないですし、私の顔写真じゃだめですか。(笑)

田澤委員 今度の体育館まつりか何かの。

石原生涯学習課長 いい写真が撮れば。

田澤委員 看板か何か、うまく入れば。

植田委員長 じゃあ、頑張っているいい写真を。

石井委員 元気な人、子供の写真がありますよね。あとは何となく元気っぽい人。

ここは高齢者なんですかね、よくわからないけど。でも……。

植田委員長 すいません、顔写真、オーケーなんですか、これ、出しちゃうの。

松本スポーツ推進係長 これ、一応わからないようにしているんですけども。

植田委員長 これ、今、白黒だから何とも言えないんですけど。

松本スポーツ推進係長 カラーにはなりません。

石井委員 今、顔写真の話をしたかったわけではなく、黄金井倶楽部さんなんかでも吹き矢をやっているとか、せっかくいろいろなスポーツ、何も走ったりだけじゃなくて、いろいろなのがあるよとうたっているの、そういう写真もどうなんですかね。
あとは車椅子の何かやっている写真とか。

田澤委員 大きい事業でいったら、こういうことですよということですよ、これはあくまでも。小さいことをいったら切りがない。

石井委員 幼児期から高齢期なんていうのを何となく。あと、障害のあるとか、そういう感じ。

田澤委員 そうなると今度、じゃあ、シニアスポーツフェスティバルの開会式みたいになっちゃいますよね。

植田委員長 みんな開会式になっちゃう。

田澤委員 そうそう、そうになっちゃうんですよ。

石井委員 車椅子バスケの写真とか、ないんですか。

石原生涯学習課長 そういうのはやっていない。

宮崎委員 四小でやっているの、学校に言えば写真はあると思いますけど。

植田委員長 いや、写真、今、やっぱりうるさいんですね。
多分、これぐらいのレベルで、白黒でもこれなので。

石井委員 これ、カラーになるんですか。

石原生涯学習課長 いえ。でも、ホームページとかにはカラーで見えちゃうから。
ただ、野川駅伝は開会式とかのときにホームページなどに使います
からということで。

田中副委員長 真ん中辺に小金井桜でも入れたらどうですか。

宮崎委員 右下は、キッズテニスか何かですか。それとも……。

秋澤委員 そうですね、キッズテニス。

宮崎委員 そうしたら、同じスポーツフェスティバルの中で、小体育室でや
っているいろいろな種目を。

田澤委員 だから、それはここに黄金井倶楽部さんが載っているでしょうと
いうことじゃないですか。

安東委員 これ、表紙にこういう四角い写真を4枚べたべたというのは、表
紙として僕はあまりふさわしくないと思うんですね。今までのやつ、
これですよ、僕はこれでいいんじゃないかと思うんですけども、
体育館の表紙で。

ちよっとこれ、パワーポイントの資料を持ってきてという感じが
して、僕は以前のたたき台としていただいたこの体育館の写真です
ね、これのほうは何となく腑に落ちるというのか、そんな気がする
んですけども。すいません。

こういうやつ載っけちゃうと、必ずこういう話になるんですね。
お年寄りが少ないんじゃないかとかね。石井さんのことを言ってい
るんじゃないですよ。ご意見だと、そういう話が出たり、じゃあ、
あれはどうだ、これはどうだとなっちゃうので、従来のたたき台の
写真でいかがかと僕は思います。

雨宮委員 雨宮ですけれども、やはり安東さんの言っていることもほんとうに、私も体育館のあれを入れて、中に入れられるんだったら。そういうのはできないんですか。

安東委員 裏表紙や何かにそういうものがあるのはいいと思うんですけれども。

石原生涯学習課長 市の立場を言わせていただくと、建物がばんとあると、建物についての何か計画が書いてあるのかなと見ると、全然そういうハードのことについてはほぼ触れていないので

組み合わせるのはですね、そういうばんと大きく体育館と、あと、ソフト系の事業とでバランスをとって、何か体育館まつりとかも撮った中で、いい写真をうまくちょっと強弱つけて組み合わせる。

田澤委員 裏表紙もあるし、どこかに入れるという形でいいんじゃないですか。

宮崎委員 ちょうどこの連携図があるので、連携図を見ながら、桜の花びらでぽんぽんぽんと入れて、後ろ側でもいいですよ、そういうふうにこの写真を持ってきてもいいと思いますが。体育館まつり、5枚だと入れられますね。

安東委員 安東です。もし4枚入れるなら、例えば丸い中にシマズのマークみたいになって、4枚になっていると。ばちばちという4枚が、ちよつと何か。

もしかすると5つなら、桜の花びらの5枚の中に写真があるような感じだと、うんと小金井らしくなるかなという気がします。

田澤委員 じゃあ、さっき田中先生もちょうど桜と言っていたから、桜を模した花びらっぽくして、5枚の写真をうまく。

石原生涯学習課長 デザインの力量と写真のトリミングとか、問題はありますけれども。

田澤委員 松本さんのセンスに任せる。

石原生涯学習課長 ご意見を踏まえて、できる限り意向に近いような。

田澤委員 そうそう、それで行きましょう、それで行きましょう。

千本木委員 でもね、今、安東さんが言われたとおり、小金井はやっぱり桜なんだよ。今言ったとおり、花びらが5つあるわけだよ。だから、その中に、今、課長が言われたとおり、うまくね。我々がこれ入れろ、あれ入れろじゃなくても、行政に私は任せてもいいと思うの。
私の希望としては、花びらが5つあるから、5つの写真をうまく、角の取れた形で。ね。丸く。

安東委員 せっかくね、小金井桜を模して考えましたみたいに中央に入れてもいいと思うんですけども、そういうイメージを使いながら、あとはお任せします。(笑)
いや、あまり4というのはね、何かしゃちほこばっていて、つまらないですよ。

千本木委員 角々しいというか。

安東委員 ばんばんばんばんってね。

千本木委員 角々しいんだよね。

安東委員 5とかね。やっぱり日本人は5とか3とか、好きじゃないですか。7とか。だから、そういうのをね、つくっていただければ。

宮スポーツ振興係主任 宮ですけれども、もう1枚、写真を入れたいなと思っ
てまして、やる楽しさというのもあるんですけども、見る楽しさで、パブリックビューイングで、バルーンスティックでみんながやっているあの後ろ姿で、モニターに選手がリオで走っているみたいなの、そういうのがあっても。

田澤委員 それこそ車椅子卓球の吉田さんとか。あの人だったらパラリンピックということもあるし。

各委員 そうですね。いいですね

田澤委員 それで五角形、5者か何か。

田中副委員長 いいじゃないですか。

宮スポーツ振興係主任 見る楽しさっていう。

各委員 いい、いい。すばらしい。

植田委員長 写真に関しては、今言ったようなもので行政にお任せするといこと
 とでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

雨宮委員 雨宮ですけど、今、田澤さんがおっしゃった車椅子のやつも、賛
 成です。よろしくをお願いします。

植田委員長 では、次第は3番でよろしかったですか。

松本スポーツ推進係長 はい。

植田委員長 ほかに何かか皆さんからございますか。
 私たち委員からは、以上でございますので、事務局で何かござい
 ましたら、最後、取りまとめをいただければと思います。

石原生涯学習課長 議員さんも4月になって新しい議員さんがいらっしゃる関係も
 あるので、そこら辺に合わせて印刷したものはお配りしようという
 ことで、年度明け早々の発行ぐらいを予定していますので、それま
 でのお気づきの、ここ、誤字があるよとか、そういうご指摘をいた
 だいたり、あと、写真などもうちのほうでいろいろ努力したものを皆
 様方にお見せして、ご意見を頂戴しながら、印刷していきたいと思
 っております。

それから、4月1日から7日までオリンピックとパラリンピック

のフラッグが小金井市にまいます。4月1日の1時から、江戸東京たても園前広場でセレモニーが行われて、都知事も来るそうなので、ぜひ関係団体の皆さんにもご参加、ご参観いただければと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

千本木委員 ちょっといいですか。その他だよ。その他で、今、課長が言われたんだけど、計画（案）は今日が最終日になるのかなと。議員さんに印刷して配る等々があるんだけど、多分その前にどこかでチェックじゃないけど、教育委員会なり、あるいは厚生文教なりで最終的に協議されるのかなと。

最終的に、今日終わった、我々がね、多分ここで我々は解任されるのかなと。これで一応案ができ上がったでしょう、100%ね。どういう経過を経て、最終的に案が取れるのか。決定されるのか。そのいろはを説明願います。

石原生涯学習課長 厚生文教委員会には、パブリックコメントを行いますということで、議員さんにはご報告申し上げます。それから、教育委員会にも、パブリックコメント前の資料を添付して、これまでの経過などもご報告申し上げます。

ただ、最終決定前にまだ通過していないところが、生涯学習の推進検討委員会という部長職で組織するような庁内組織があるんですけど、そういったところで、部長さんが所管している各課のご意見とか、各課で所管している計画との整合なども見ていただいた上で、成文化して、印刷にかけるという流れになるかなと思っております。

以上です。

千本木委員 もう1点、その他で、いいですか。私も長く役所にいて、行政にかかわってきたんだけど、今現在の組織の名前ね、うちの。生涯学習課スポーツ振興係なんだよね。私がやっていたころは、体育館ができ上がったときに体育課として、課として組織されていたよね。その後、スポーツ振興課というものもあったんですよ。この前にね。それが生涯学習課の中でスポーツ振興係となっているんですよ。

せっかくこういう形で計画が100%でき上がる、で、3年後にオリンピックが控えている。私の希望としたら、係じゃなくして、スポーツ振興課として担当課長を置く。組織を強化してもらいたいなど、私、個人的にはそう思っているんです。

だから、今回、私が委員になるときに、私なんか、論文じゃないけど書いて、そのときに私も1行2行つけ加えて、希望として、係じゃなくして、課として、組織を強化するために組織改正をというふうに個人的には思っています。

あとほかの委員さんがどう思われるかはわからないけれども、思っても即どうこうじゃないと思いますけれども、組織を変えらるとなると、やっぱり議会にかけなくちゃいけない、準備もあるでしょう、時間もかかるだろうけれど、何とか強化、オリンピックを3年後に控えている、課として組織を改正してもらいたいなど。個人的な希望です。

以上です。

植田委員長 たしか国体のときも別組織がつくられたんですよね。

石原生涯学習課長 組織は生涯学習課だったんですけども、国体担当課長がいました。生涯学習課長と別に。

植田委員長 また2020年に向かって、何らかの組織、国体のような形でできるのか、今、千本木さんがおっしゃったような形になるのか、これはまたおいおいそういったことが検討されるわけですよね。

千本木委員 でも、行政じゃ、他市町村の近隣市は、課として独立しているところもあるんだよね。私、今日、資料を持ってきていないけれども、人口が少ない、小金井より少なくても、課として強化されている行政があると思います。

だから、そこでどうこうじゃないけど、せっかく小金井でこういうのが立ち上がった以上は、係じゃなくして、担当課長を置いて組織を強化するというふうに私は個人的に思っています。

植田委員長 ありがとうございます。そのほか、何かございますか。

では、ないようなので、最終回、第6回の会議はこれにて終了に

したいと思います。

6回、長いような短い期間でしたが、皆さん、ありがとうございました。また、お疲れさまでした。私も非常にやりがいを持ってやらせていただきました。ほんとうにありがとうございました。お疲れさまでした。(拍手)

松本スポーツ推進係長 10月から始めて6回ということで、ほんとうは最初、今年度暫定予算で、もうちょっと長いスパンで計画をつくる期間を設けていたんですけど、短目の、10月から1カ月ごとにとということになりました。

ただ、あまり間延びしなくて逆によかったのかなという思いもありまして、皆さんのほんとうに献身的なご努力をいただきまして、最初はほんとうにどうやったらいいんだろうって、田中先生のところに駆け込んで、先生、どうやったらいいんですかといって相談しにいて、何とかたたき台を他市のものを参考に作ってこれましたので、ほんとうに皆さんのご協力をありがとうございました。

委員長、副委員長、どうもありがとうございました。

— 了 —